(ID　0　) ☆7

治療計画書

療法名 JALSG AML-201(高齢者) 寛解後 第3コース(BHAC+ACR)　療法　1サイクル＿＿＿日

疾患名　急性骨髄性白血病

注射 / 内服 / 放射線	Rp	商品名 / 照射部位	用量(/回) / 用量(/日) / 照射量	投与ルート / 用法	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
注射	1	生理食塩液	500 ml	点滴	キープ	●	●	●	●	●																							
注射	2	グラニセトロン デキサート	3 mg 9.9 mg	点滴(側管)	30分	●	●	●	●	●																							
注射	3	アクラシノン 生理食塩液	14 mg/㎡ 100 ml	点滴(側管)	30分	●	●	●	●	●																							
注射	4	サンラビン 注射用水 生理食塩液	200 mg/㎡ 10mg/mlで溶解 500 ml	点滴(側管)	3時間	●	●	●	●	●																							
注射	5	生理食塩液	50 ml	点滴(側管)	ルートフラッシュ	●	●	●	●	●																							
注射	6																																
注射	7																																
注射	8																																
注射	9																																
注射	10																																
内服	1																																
内服	2																																
内服	3																																
内服	4																																
内服	5																																
内服	6																																
内服	7																																
内服	8																																
内服	9																																
内服	10																																
放射線			Gy																														

特記事項

・70歳以上ではアクラシノンを10mg/㎡に減量する
・前治療の影響がなくなり、十分に骨髄機能が回復した後に施行
コース終了後、血小板数が回復次第JALSG AML-201髄注療法を施行

減量規定

薬品名	アクラシノン		サンラビン	
標準投与量	14 mg/㎡	総投与量上限 アントラサイクリン系の投与後症例では本剤の総投与量600mg以上で心電図異常の発現頻度増加	200 mg/㎡	
1段階減量	10 mg/㎡		150 mg/㎡	
2段階減量	7 mg/㎡		100 mg/㎡	
3段階減量				